

川崎市中央卸売市場北部市場

令和2年2月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	数量(トン)	平均単価 (円)	数量の前年 同月比(%)	平均単価の 前年同月比 (%)
1	生 鮮	本まぐろ	メキシコ産養殖は増加しましたが、前年と比べ、取扱数量は減少、平均単価はやや上がりました。	10	2,838	81	106
2		めばちまぐろ	東南アジア方面の不漁が響き、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はやや上がりました。	2	2,156	74	108
3		はまち	鹿児島産(5kg前後)が主体で、取扱数量は前年並み、平均単価は前年よりやや下がりました。	29	1,044	98	97
4		あじ	九州方面中心の入荷で、取扱数量は前年よりやや増加、平均単価は前年並みでした。	41	590	104	101
5		いか	九州・山陰中心の入荷でした。前年と比べ、取扱数量は減少、平均単価は上がりました。	37	889	81	118
6		さば	房州中心の入荷でしたが、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	39	501	74	127
7	冷 凍	めばちまぐろ	前年と比べ、取扱数量はやや減少、平均単価は前年並みでした。	43	1,283	90	102
8		いか	八戸産中心でしたが、全体的に水揚げ量が悪く、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価は大幅に上がりました。	9	1,457	52	151
9		さば	前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価はかなり下がりました。	14	279	144	53
9	加 工	さけます	チリ銀さけ加工品の大型が少なく、前年と比べ、取扱数量は大幅に減少、平均単価も下がりました。	19	927	34	80

[増減基準]

- ①並み、横ばい 前年比+-2%以内
- ②やや増加(減少) 前年比+-3~10%
- ③増加(減少) 前年比+-11~20%
- ④かなり増加(減少) 前年比+-21~50%
- ⑤大幅に増加(減少) 前年比+-51%以上